



がっこう 学校だより

よこはましりついできた
横浜市立飯田北いちよう小学校
平成27年 3月号
2月27日発行

あら もくひょう む 新たな目標に向かって

やわらかな陽射しが日一日と暖かさを加えるこの頃、校庭の桃の蕾もほころび始め、卒業の日が近づいてきたことを感じさせてくれます。皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。



さて、統合開校して1年間が経とうとしております。その間、様々な事に挑戦してまいりました。子どもたちのアイデアを活かした学校行事、学力向上をめざした少人数指導、地域や保護者、学生さんを加えたボランティアの皆さんにご協力いただいた活動など、多くの人に支えていただきながら進めてまいりました。その振り返りとして、学校評価を基に「学校説明会」も行いました。ここでいただいたご意見やご要望につきましては、次年度の計画を作成する参考にさせていただきます。「ありがとうございました」

3月は日本では年度末にあたり、学校では学年のまとめの月になります。子どもたちも今年度の活動を振り返り、成果と課題を洗い出します。今月行われる「個人面談」も参考に、新たな目標を決めていかれるとよいと思います。

たいりよくこうじょう とりくみ 体力向上の取組



今、子どもたちの体力低下に関心が高くなっています。横浜市では「横浜市子ども体力向上推進検討委員会」を設置し、「子どもの体力向上推進計画」を策定しています。それを受けて市内の学校では、学校独自で体力向上に取り組んだり、家庭・地域と連携して取り組んだりしています。

世の中が便利になり、交通網が整備されたり、便利な機器が生まれたりして、体を動かす機会が少なくなっています。今、学校で学んでいる子どもたちが大人になる頃には、もっともっと社会が発展し、人が体を動かす機会が減ってくることが予想されます。そこで「体力アップよこはま2020プラン」にもあるように、①運動の機会の確保、②教員の指導力向上、③生活習慣の改善等を柱に、生涯にわたって運動に親しんだり、健康的な生活習慣を実践したりして、健康な体づくりを目指しています。飯田北いちよう小学校では、運動委員会の子供たちが呼びかけて、中休みや昼休みに、「なわとび」を通して体力向上を目標に活動しています。